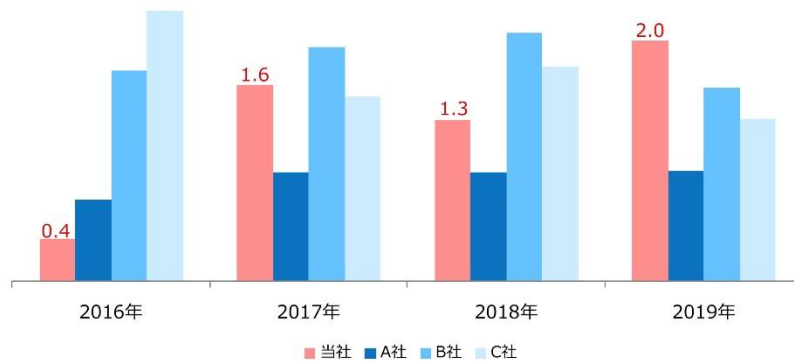


1施設あたりの新卒採用数が示唆するドミナントが高める採用力

運営施設数当たりの新卒採用数



出典：施設数-各社の決算説明会資料
 新卒採用数-A社、C社はマイナビ、B社は決算説明会資料を基に当社作成

千葉県内では2015年から2017年の3年間で、株式会社が運営する認可保育所は35施設増えた。そのうち、global bridge HOLDINGSグループ(以下「当社グループ」)が運営する認可保育所は12施設であり、3分の1以上を占めることになる。また、2018年に6施設、2019年に8施設を開設し、2020年には9施設の認可保育所を開設を予定しているため、運営施設数は合計で36施設となる。2番目に認可保育所を運営している企業は約12施設であるため、当社グループは千葉県内で圧倒的なシェアを占めることになる。

経営において、シェアの観点からは当然重要である。シェアが高ければ、その地域での認知度が高くなり、知名度が上がる。知名度が上がると、求職者の応募数が増加する。求職者の応募数が増加すると、採用率が一定の場合には質も上昇するからである。

上図は、保育業界の上場企業が運営する保育施設当たりの新卒の採用数を年度別に比較して並べたものである。当社グループは、5年前から各直営施設に毎年2名の新卒を配属して育てていくことを目標に定め、2019年に初めて達成した。2020年では当社グループの直営保育施設は70施設を超えるため、140名の新卒採用を目標としていたが、2020年4月の入社予定者数はすでに160名を超えている。

当社グループが運営する保育施設は、すべて認可保育所(小規模保育含む)であり、企業主導型や事業所内保育等の無認可保育施設は運営していない。当社グループ以外の同業他社の多くは、無認可保育施設を30～80%の割合で運営している。無認可保育園は認可保育所よりも、保育士の配置率が低かったり、子ども一人あたりの保育面積が狭かったりするため、参入障壁が低いが補助金も低い。また、利用申し込みも自治体経由ではないため、保護者は自分で無認可保育園を探して、直接申し込みなくてはならない。一方の認可保育所の保育士配置率は原則100%であるため、設置基準が厳しく、それに合わせて運営補助金も高いため保育内容も充実させやすい。つまり、保育士の採用に強ければ、補助金の高い認可保育所をつくることができる。当社グループは

採用に強いため、認可保育所率 100%を維持することができ、保育所の質の向上のための原資を確保することができる。

このように、保育や介護などの業態は規模が重要となってくる。ドミナントによる規模の拡大が採用力を高め、質の向上に寄与しているからである。

●当レポートは、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。当レポートのご利用に際しては、ご自身の判断にてお願い申し上げます。また、当レポートは執筆者の見解に基づき作成されたものであり、当社の統一した見解を示すものではありません。なお、当レポートに記載された内容は予告なしに変更されることもあります。当レポートは著作物であり、著作権法に基づき保護されています。当レポートの全文又は一部を著作権法の定める範囲を超えて無断で複製、翻訳、翻案、出版、販売、貸与、転載することを禁じます。